

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2023-167686
(P2023-167686A)

(43)公開日 令和5年11月24日(2023. 11. 24)

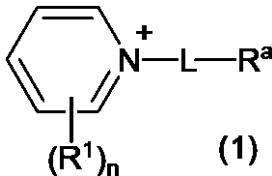
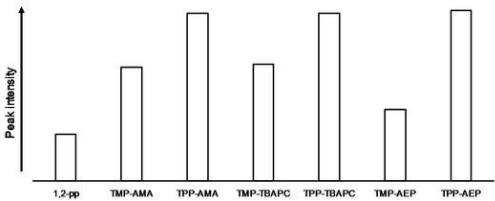
(51)Int.Cl.		F I	テーマコード (参考)	
C 0 7 D 213/20	(2006. 01)	C 0 7 D 213/20		2 G 0 4 1
G 0 1 N 30/72	(2006. 01)	G 0 1 N 30/72	C	4 C 0 5 5
C 0 7 D 401/06	(2006. 01)	C 0 7 D 401/06	C S P	4 C 0 6 3
C 0 7 D 401/10	(2006. 01)	C 0 7 D 401/10		
G 0 1 N 27/62	(2021. 01)	G 0 1 N 27/62	V	
審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 19 頁)				
(21)出願番号	特願2022-79047(P2022-79047)	(71)出願人	598015084	
(22)出願日	令和4年5月12日(2022. 5. 12)		学校法人福岡大学	
			福岡県福岡市城南区七隈 8 丁目 1 9 番 1 号	
		(74)代理人	100145403	
			弁理士 山尾 憲人	
		(74)代理人	100145104	
			弁理士 膝館 祥治	
		(72)発明者	坂口 洋平	
			福岡県福岡市城南区七隈 8 丁目 1 9 番 1 号	
			学校法人福岡大学内	
		(72)発明者	川末 慎葉	
			福岡県福岡市城南区七隈 8 丁目 1 9 番 1 号	
			学校法人福岡大学内	
最終頁に続く				

(54)【発明の名称】 質量分析用誘導体化試薬

(57)【要約】

【課題】短鎖脂肪酸等の検出対象物を高感度で検出可能な質量分析用誘導体化試薬を提供する。

【解決手段】下記式(1)で表される質量分析用誘導体化試薬である。式(1)中、Lは2価の連結基を表し、R¹はそれぞれ独立して、アリール基又は炭素数1から12の脂肪族基を表し、R^aはカルボン酸反応性基又はアミン反応性基を表し、nは1から5の数を表す。



【選択図】図1